	通常評価		評価)						
事務事業名	小中学	校総合学力調	查事業			事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	吉	田 正哉		
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	健やかな	心や体を育む	·学校教育			
	基本事	基本事業 01 確かな学力の育成							
+ 414 0 17 44	児童生征	徒の学力・学	習状況を客観的に		その結果を基し	こ指導法の改善	等に生かし、	よ	
事業の目的		的に学力向上			C (AP)( C	78 (7.2.3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.			
			<u> 意欲と生活様式の</u>	)調査					
事業の概要			意欲と生活様式の						
■事業実施結果		(Do) ]		H-7 111					
		年度	5年度		6年	 =度	7年度		
事業費の推移			実績					初	
于 <b>不</b> 良(7)正19		※事業費	83		37		0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
一的「人口子不	指標				5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指标	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
11-1	-	国杏結里を分析	し授業改善等に生か				#1 [	#10	
指標の推移		M互相などガが している学校の		%	100	100			
	評価	●達成、村	既ね達成した (	)多小は達	成した 〇道	成できず		•	
達成度の	и і іш		之。 学習状況調査結果				「学力向上推	進研修」を宝	
評価と説明	説明								
	説明   施し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。								
見直し余地	判定	〇数年内(	こ見直し可能 (	つ金地はあ	るがまだ時間	が必要 ●金	き地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	●廃止・	完了				
<u> </u>									
<b>具</b> 源力问性									

1 372 3 7 7 7 7 7 7 7 7	<u></u>		評価)					
事務事業名	学校10	T管理事業				事業開	開始年度 令	和 2年度
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	笹:	沼 修作	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			·			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	∶健やかな	心や体を育む	学校教育		
	基本事	業 02	ICT教育の実	践				
事業の目的	児童・	生徒の情報活	用能力の育成、杉	交務の ICT化	による教職員	の負担軽減。		
争未の日的	GIGAス	クール構想の	実現。					
事業の概要			学習等に使用する	GICT機器・	ソフトウェア	の管理を行う	0	
			想を推進する。					
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度			度		年度
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	績	빌	<b>á初</b>
		総事業費	108, 854		107,	333	380	, 251
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	宗17 17	丰匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動		ータ1台当たりの児	台	1	1	1	1
1日1示 リカー 1日1夕	/11 封/	童生徒数		П	1	1	1	'
	活動	普通教室の無線	AN整備家	%	100	100	100	100
	7,1,7,3						100	100
	評価			)多少は達		成できず		
達成度の			Cの修繕及び追加	購入、APを	適切に管理す	ることで、一	人一台の学習	者用PC環境を
評価と説明	┃ 説明 ┃維持することができた。							
見直し余地								
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性								
資源方向性	予算	予算額 │○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 │○拡大 ●現状 ○縮小						

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名	スクー	-ルカウンセラ	一活用事業				始年度	平成26年度	
担当課	教育委	長会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	根	本 広昭		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	建やかな	心や体を育む	学校教育			
	基本事	第 03	豊かな心の育	<b>育成</b>					
古世の口め	児童生	徒が安定した	学校生活を送れる	よう、悩み	みがある児童生	:徒・保護者 <i>の</i>	カウンセリ	リング	
事業の目的	を実施								
古米の畑田	市費で	小中学校8校(	こ5人のスクールカ	」ウンセラ-	ーを派遣するほ	む、臨床心理	世、スクー	-ル	
事業の概要			による相談等を行						
■事業実施結果									
		年度	5年度		6年	度		7年度	
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	績		当初	
		総事業費	11, 496		13, 2		1	3, 991	
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+15.4	<b>ボ ク 1</b> ケ	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1百个	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画	
比価の批ね	YT #1	+# " +			1 000		1000		
指標の推移	活動	巾賀スクールカ	ウンセラー派遣時間	回	1, 092	1, 092	1000	1000	
	評価	<b>■</b> 達成、	概ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず		•	
達成度の		特に配慮が	が必要な児童生徒	が安定した			ることがで	きた。	
評価と説明	説明		りがある保護者の						
A. I — A. 6 7 5									
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	∻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性		[し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮	小	

事務事業調書(			評価)							
事務事業名	適応支	援教室運営事	業				開始年度 平	成22年度		
担当課	教育委	長会 学校教	育課		担当者	根	本 広昭			
■事業の執行計	画【計									
	政策	03	文化薫る心豊							
総合計画体系	施策									
	基本事		豊かな心の育							
事業の目的	不登校 	:児童生徒等が	、将来の社会的な	は自立に向け	ナてエネルギ-	−を養うことカ	<b>ができる。</b>			
事業の概要			相談員を配置し、	個に応じた	た支援を行う。	ことにより心を	を安定させる。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度			度		年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績			!績		当初		
		総事業費	8, 709		10,	653	12,	730		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	10.1	<b>ボーロ 小小</b>	+12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	適応指導教室通	級児童生徒数	人	20	20	20	20		
	評価	」●達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇道	を 成できず		•		
達成度の		不登校児童	重生徒等が、将来				養うことがで	きた。		
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・		_	_			
資源方向性	予算額 □○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 □○拡大 ●現状 ○縮小									

			評価)								
事務事業名	給食セ	ンター管理選	営事業			事業開	始年度   平	成27年度			
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	宇	田泰男				
■事業の執行計		画(Plan)】									
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成						
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	∶健やかな	心や体を育む	学校教育					
	基本事	業 06	安全・安心な	以教育環境	の実現						
事業の目的	安心・	安全でおいし	い栄養バランスσ	)とれた給1	食を供給する。						
事業の概要			川地区小中学校約					₹.			
			調理師、会計年度	<u> </u>	(調理員·配送	員)で、管理	運営。				
■事業実施結果	【実施										
		年度	5年度		6年			丰度			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績当初						
		総事業費	47, 908		56,	142	33,	当初 33, 573			
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】											
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	101	W. D. 101.	<b>—</b>	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	給食に関する事	故等件数	%	0. 001	0. 003	0				
	評価	i ●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず	•				
達成度の		事故件数4	÷年間食数159,5	39≒0. 003°	%。異物混入4	件。					
評価と説明	説明	令和6年4月	月9日:熟田小学村	交 (繊維片)	) 、令和6年6月	月18日:喜連J					
	令和6年9月11日:喜連川中学校(毛髪)、令和6年12月20日:熟田小学校(部品片)										
見直し余地	判定	2 〇数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性			!状どおり継続	●廃止・							
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:○現状 ●縮小		業務量		)現状 ●縮小	١			

1 372 3 7 7 7 7 7 7 7 7	通常評		評価)					
事務事業名	小学校	施設補修整備	事業			事業開	始年度   平	成17年度
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	笹:	沼 修作	
■事業の執行計	画【計							
	政策 施策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	:健やかな	心や体を育む	学校教育		
13 - 11 - 11 11	基本事	業 06	安全・安心な					
事業の目的	小学校	施設及び設備	を、指導上、保傾	建衛生上、5	安全上及び管理	里上適切な状態	に維持する。	
事業の概要	現地調		備の補修や整備。 グを行い、緊急度	そで重要度(	こ応じて実施。			
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	74	丰度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	빌	首初
	¥	総事業費	25, 202		270,	527	272,	561
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	7日1	示句你	丰四	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	要望対応率		%	100	100	100	100
	評価	i ●達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず		
達成度の 評価と説明	説明		こ加え、学校から	の要望に対	けし、即時対応	を実施するこ	とができた。	
見直し余地	判定		こ見直し可能 (	<u>) 余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 〇紀	≹地なし	
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性			<u> 状どおり継続 </u>	<u> 〇廃止・</u>				
資源方向性	予算	₮額 ┃〇拡大	:●現状 ○縮小	ı	業務量	〇拡大	現状 〇縮小	\

事務事業調書(	通常評		評価)					
事務事業名	給食も	2ンター建設事	業			事業開	始年度 平	成28年度
担当課	教育委	長会 学校教	育課		担当者	笹	沼 修作	
■事業の執行計		画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と			·学校教育		
	基本事		安全・安心な					
事業の目的			小・中学校の自材				含食センターを	建
サ木の口町			食センターから全					
事業の概要		;した氏家地区	の自校式給食調理	関場からせご	ンター方式と「	して学校給食も	zンターを新設	とす
	る。							
■事業実施結果	【実施							
		年度	5年度			- 度		F度
事業費の推移		漬/当初予算	実績			績		i初
- 11 116		総事業費	36, 556		1, 573	s, 116	1, 994	1, 997
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	JH 1	ж <b>п</b> гт	7,4	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	給食センター建	<b>設数</b>	施設	0	lo	1	1
10 100 10 10	7,70,71	112 7 2		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>		<u>'</u>	
	=T: /T			)		= 4 - 4 - 48		<u> </u>
法士中心	評価			多少は達		<u> 成できず</u>	<b>又灰卅甲七</b> 二	1. 7± 65 ±66
達成度の	=24 85		目の供用開始及び			ため、適切に	予算措直を行	い、建梁・機
評価と説明	説明	州・電気	・厨房機器・外構	<b>上事を実</b> 所	した。			
日本1人山	1/11 <del>C</del>	<b>一个</b> ** 左 <b>力</b> /	- B 士   J 北 /	10 H/L +	フ ムミーナ よくロナ 日	11: N = 0/	\ _11b + < 1	
見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
		Action) ]	3 小下 1 3 キン 1 1 6小 6 ±	●床止「	シマ			
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	●廃止・ <del>∃</del>		10#+	7日1上 ●佐元	
資源方向性	予算額 ○拡大 ○現状 ●縮小 業務量 ○拡大 ○現状 ●縮小							

事務事業調書(	通常評	一個事業 事後	評価)						
事務事業名	学校約	合食管理事業				事業開	始年度   平	成30年度	
担当課	教育委	<b>委員会</b> 学校教	育課		担当者	前 國,	廣梢		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	:健やかな	心や体を育む	学校教育			
	基本引	<b>事業</b> 06	安全・安心な	よ教育環境	の実現				
古世の口む	自校式	は給食の調理員	の確保、厨房機器	の管理、 信	+器の購入、約	合食施設の整備	#、清掃等を通	<b></b> 直正	
事業の目的		に行い、安全・安心な学校給食を安定的に児童・生徒及び教職員に提供すること。							
古米の畑田	調理業	<b>養務委託、厨房</b>	機器等給食備品、	消耗品等(	の購入、給食が	施設の整備点検	食、清掃、栄養	<b></b>	
事業の概要			菌検査等を行う。						
■事業実施結果	【実施	i (Do)							
		年度	5年度		6年	度	74	丰度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実	績	7	当初	
		総事業費	119, 505		118, 940		43,	999	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+64		出人	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	<b>打日</b> 1	宗石仆	単位	実績	実績	計画	計画	
七冊の批ね	成果	事故等により給	食が提供できなかっ	%	0	0	0	0	
指標の推移	八 未	た日数(小学校)	)	%0	U	U	U	U	
	成果	事故等により給	食が提供できなかっ	%	0	0	0	0	
	八米	た日数(中学校)		, •	,	•	U	U	
	評句		既ね達成した (					·	
達成度の			進む自校式給食室						
評価と説明	説明 を実施することで、安全に給食を提供することができた。また、調理業務受託者も適切に業								
			たため、全日給食						
見直し余地	判员		こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:○現状 ●縮小		業務量		)現状 ●縮小	`	

1 372 3 7 7 7 7 7 7 7 7	通常評価		:評価)						
事務事業名	中学校施	設補修整備	事業			事業開	始年度   平	成17年度	
担当課	教育委員	会 学校教	(育課		担当者	笹	沼修作		
■事業の執行計		(Plan)							
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	健やかな	心や体を育む	学校教育			
10 11 11 11	基本事業	06	安全・安心な						
事業の目的		設及び設備			安全上及び管理	里上適切な状態	点に維持する。		
事業の概要		施設及び設	備の補修や整備。						
■事業実施結果	【実施(	Do)							
	左	F度	5年度		6年	度	74	丰度	
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績	<u> 1</u>	首初	
	総事	<b>事業費</b>	34, 117		56, 9	940	49,	309	
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示句例	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果要	望対応率		%	100	100	100	100	
	評価	■達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず	•	·	
達成度の		当初計画は	二加え、学校から	の要望に対	けし即時対応を	実施すること	ができた。		
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性									
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小							\	

	通常評価		:評価)							
	小学校施	設長寿命化	2改良事業			事業開	始年度   平	成29年度		
担当課	教育委員	会 学校教	育課		担当者	é 笹	沼修作			
■事業の執行計員	画【計画	(Plan)				<u> </u>				
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03			心や体を育む	·学校教育				
13 11 - 11 - 11	基本事業	06	安全・安心な							
			過した建物を対象			学校を将来に過	きって長く使用	用す		
			や性能を求められ					,		
			寿命化計画を基に			外壁調查等為	・行い各施設(	<b>D予</b>		
事業の概要			行う。学校施設長				בווס מו מווי			
■事業実施結果		00)		(),	<u> </u>					
		度	5年度		6年		7:	年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績					<u></u>		当初		
テル臭い血的		業費	102, 719			)		949		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
_	指標				5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
15 IT 0 14 Th										
指標の推移	成果長	寿命化改修率		%	100	100	100	100		
	評価	●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		年次計画(	基づき事業を実	<u>ルンナ。</u> 施した。	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
評価と説明	説明			<b>,,,,,,,,</b> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
п пщ ⊂ пло∙лз	D0-91									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	金地はあ	るがまだ時間	が必要 〇名	会地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了										
				予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小						

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	中学校	交施設長寿命化	:改良事業			事業開	始年度 平	<sup>2</sup> 成29年度		
担当課	教育委	<b>委員会</b> 学校教	育課		担当者	笹:	沼修作			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ዸ健やかな	心や体を育む	学校教育				
	基本導	3業 06	安全・安心な	\$教育環境	の実現					
古米の口が	建築後	640年以上経	過した建物を対象	きとして、ま	老朽化した中草	学校を将来に渡	きって長く使ん	用す		
事業の目的	るため	、建物の機能	や性能を求められ	ιる水準ま	で引き上げる。					
古米の畑市			寿命化計画を基に				行い各施設	の予		
事業の概要	防保全	・再生整備を	行う。学校施設長	長寿命化改」	良工事を行う。					
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7	年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	1	当初		
		総事業費	12, 187		312,	234		0		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+5+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	示句例	中世	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	長寿命化改修率		%	100	100	100	100		
担信の推修	八米	技寿叩记以修卒		90	100	100	100	100		
	評句	<b>描</b> ■達成、	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず	•	•		
達成度の		年次計画に	基づき事業を実	施した。						
評価と説明	説明									
見直し余地	判员	○数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		10継続 ○明	状どおり継続	〇廃止・			<u>-</u>			
資源方向性										

事務事業調書(	通常評	福事業 事後	評価)						
事務事業名	外国語	野教育推進事業	ŧ			事業開	開始年度 <sup>  ュ</sup>	平成26年度	
担当課	教育委	長員会 学校教	育課		担当者	吉	田正哉		
■事業の執行計						•			
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	健やかな	心や体を育む	·学校教育			
	基本事	業 07	英語教育の充						
+ 414 0 17 44			するとともに、児		英語への関心	・学習意欲を高	揚しながら		
事業の目的			力を養い、英語教					-	
			立保育園に英語指			<b>』を派遣する。</b>			
事業の概要	l , , ,	. 1312 2		147-011		e c mæ / o o			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	- 度		7年度	
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績		当初	
		総事業費	36, 408		38,	096	41	1, 070	
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+5.4	<b>亜 ク 1</b> 4-	** / <b>T</b>	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分		票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
比価の批ね		小学校における	児童一人あたりの授	n+ 88	20		20	20	
指標の推移	活動	業実施数		時間	39	39	39	39	
	活動	中学校における	生徒一人あたりの授	時間	70	70	70	70	
		業実施数					70	70	
	評価	<b>插</b> ●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇遺	成できず			
達成度の		小学校・ロ	中学校に英語指導	助手(A L	. T)、小学校	に英語活動支	援員を派遣	し、授業を実施	
評価と説明	┃ 説明  した。								
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直	夏し継続 ●現	!状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算	算額 〇拡大			業務量	○拡大●	現状 〇縮	<u>小</u>	

	通常評	価事業 事後	:評価)							
事務事業名	市立中学校国際交流事業					事業開	開始年度 コ	₽成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課				担当者	f 田 <sup>4</sup>	代 浩貴			
■事業の執行計	画【計									
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成					
総合計画体系										
	基本事業 07 英語教育の充実									
		国際的視野の								
事業の目的			る経験を通じて、	語学への問	関心を高める					
			員を選考し、現地			ステイを行かっ	5			
事業の概要	1.1.2.7	ルルクラ派造団		5-1X C 07.	Z/III ( )	() [ () [ () () ()	•			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年		7	年度		
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実績		当初			
テル兵の加り		総事業費	9, 940		11,		15, 180			
■前年度の事業		評価 (Check)	3, 515		,	100		, 100		
	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指标	指標名称		実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	事業参加生徒数		人	20	20	20	20		
	評価	■達成 :	既ね達成した (	L )多小け達	成した 〇语	成できず	ļ			
達成度の	III						- イを宝施 L	<i>t-</i>		
評価と説明								/_ 0		
古丁川山 こ 記げり	元ヴ	]	くこの 文加 と 床の	1_0						
見直し余地	判定									
		Action)】	- 元臣しり形	ファンド 10 (V)	1.のり. ひ /ご144日	1/0 % <b>以</b> 安 〇万	いらな し			
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	<b>主</b> 了					
資源方向性			<u>は休とあり継続</u> : ○現状 ○縮小		元」 業務量	○拡大	現状 〇縮/	1		
具脲刀凹性	]/5	子供 ▼加入	. し現仏 し稲小		未伤里		ガス しゃん	1,		

事務事業調書(			評価)						
事務事業名	さくら市斎藤奨学金事業					事業開	始年度   <del>-</del>	F成26年度	
担当課	教育委員会 学校教育課				担当者	齊層	藤 直人		
■事業の執行計		画(Plan)】				·			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ዸ健やかな	心や体を育む	学校教育			
	基本事	業 99	総合事業						
古米の口的	経済的	理由で進学を	断念する子供が生	Eじないよ	う、奨学金の貨	資付による財政	対支援を行う	こと	
事業の目的	で教育	機会の増大を	図ること。						
古米の押用	奨学金	の貸付希望者	から貸付する者を	と決定するi	選考会を開催す	ける。			
事業の概要			委員への報酬を支	を払う。					
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7	/年度	
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績			当初	
		総事業費	7	7			0		
■前年度の事業	分析【	評価(Check)							
	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分			丰四	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	<b>※切字に対する</b>	<b>学</b> 什家	%	100	100	100	100	
担保の推修	八木	希望者に対する貸付率		70	100	100	100	100	
	評価	」 ●達成、	概ね達成した (	う多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の			付希望者の選考を	行い、基準	℄を満たした者	に対して貸付	を行った。		
評価と説明	説明								
見直し余地		判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
		Action) ]							
事業の方向性			<u>限状どおり継続</u>	〇廃止・					
<u> </u>	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小	1	業務量	●拡大 C	)現状 〇縮	<b>'</b> ]\	

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	┃小中学校特別活動補助事業						始年度 平	成26年度	
担当課	教育委員会 学校教育課				担当者	上	乡 萌花		
■事業の執行計	画【計				·	·			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	:健やかな	心や体を育む	学校教育			
	基本事	業 99	総合事業						
±** 0 0 11	体育部	・文化部の活	動に対して財政的	う支援を行っ	うことにより、	これらの活動	加の参加する機	会	
事業の目的	の増大		発現を図り、もっ						
<b>丰业。</b> 师王			童・生徒の体育部					なび	
事業の概要			動に対して補助を						
■事業実施結果		(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実績		当初		
7 51456 14 712 15	;	総事業費	12, 492	12, 438			0		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標	411		24 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指標名称		単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	児童一人当たり	のは叶仝苑	円	1, 315	1, 242	1, 285	1, 285	
付け示りが出物	八木	光里 ハヨたり	の補助並領	13	1, 313	1, 242	1, 203	1, 200	
	成果	生徒一人当たり	の補助全類	円	6, 400	6, 617	6, 677	6, 677	
	774714	_,,			,		0, 077	0, 077	
	評価		既ね達成した (			成できず			
達成度の			学校での児童・生				自の体力・情	操の発達及び	
評価と説明	説明	充実を図る	るための活動に対	して適切に	∶補助を行うこ	とができた。			
見直し余地		判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
	711	Action) ]							
事業の方向性			!状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ○拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(評価)								
事務事業名	П 	コミュニティ・スクール活用事業   事業開始年度   平成30									
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	高温	頼亮				
■事業の執行計	■事業の執行計画【計画(Plan)】										
	政策	03	文化薫る心豊								
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	:健やかな	心や体を育む	·学校教育					
	基本事	第 99	総合事業								
事業の目的			の様々な課題解決	に参画し、	それぞれのコ	立場で主体的に	こ子供たちの	成長			
争未の日的		ていく。									
事業の概要			学校運営に参画す			の導入により、	地域の力を	学校			
			ともにある学校で	ごくりを推済	進する						
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度			- 度		7年度			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初				
		総事業費	497	497		1, 135		1, 299			
■前年度の事業		評価 (Check)									
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	181	14保石物		実績	実績	計画	計画			
指標の推移	活動		への出席者数(延		211	214	210	210			
1日1示り71年19	石刧	べ)			211	217	210	210			
	評価		概ね達成した (			<u> ほ成できず</u>					
達成度の			交運営協議会が開		☆学校の特色に	:応じ、地域の	力を学校運	営に生かす地域			
評価と説明	説明	1  とともには	ある学校づくりを	推進した。							
見直し余地	判定		に見直し可能 (	<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 ●糸	<u>   地なし</u>				
	_	Action) ]									
事業の方向性			<u> </u>	〇廃止・							
<b>資源方向性</b>	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮	<b>小</b>			

事務事業調書(	通常評価		評価)					
事務事業名	さくらす	市給付型奨学	金事業			事業開	始年度	平成28年度
担当課	教育委員	員会 学校教	(育課		担当者	齊層	藤 直人	
■事業の執行計	画【計画	回(Plan)】			·	•		
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	∶健やかな	心や体を育む	·学校教育		
	基本事業	業 99	総合事業					
古世の口め	経済的理	里由で進学を	断念する子供が生	Eじないよ	う、入学金の約	合付による財政	文援を行う	うこと
事業の目的	で教育権	機会の増大を	図ること。					
古米の畑西	奨学金0	の給付希望者	から給付する者を	·決定するi	選考会を開催し	ン、対象者に <i>入</i>	、学金相当額	質の給
事業の概要			催時の選考委員へ					
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	- 度		7年度
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実績		当初	
	総	事業費	382		1, 430		0	
■前年度の事業	分析【評	平価 (Check)						
	指標	+6+	西夕华	** / <del>+</del>	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
151年の1444		·			0	5	5	
指標の推移	成果	合付人数		人	Z	ວ	ວ	5
				人				
	評価	●達成、村	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇遺	成できず		,
達成度の		5名の応募	∮があり、5名に	給付金を支	給した(上限	【人数5名)。		
評価と説明	説明							
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
■将来方向性【	改善(A	ction) ]						
事業の方向性	●見直		状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	額 ●拡大	○現状 ○縮小		業務量	<ul><li>並大 C</li></ul>	)現状 〇縮	小

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(評価)					
事務事業名	小学材	小学校教育振興事業 本本の 本本の 本本の 本本の 本来開始年度 本成30年度 本の 本来 はいっぱん おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう マスティ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう						
担当課	教育委	長会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	國	<b>賽 梢</b>	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ニ健やかな	心や体を育む	学校教育		
	基本事	第業 99	総合事業					
事業の目的	学校生	活、授業、行	事等の中で多彩な	♪活動を引き	き出し、児童 <i>0</i>	)学習意欲を高	あめる。	
事業の概要	各種教	育活動に必要	外部講師による書 な教材消耗品を整		重指導を行う。			
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年			F度
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	14, 374		14, 9	10	15, 751	
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)	]					
	指標	t⊑:	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	JH1	宗 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	丰匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移		日常生活におい きが増した児童	ても興味関心や気づ 数	人	2, 461	2, 446	2, 363	2, 363
	評価	<b>[</b> ●達成、	概ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず	•	•
達成度の 評価と説明	地域外部講師による書写及び各種指導を授業で実施することで、児童の興味関心や意欲が 説明 まった。							心や意欲が高
見直し余地	判定   ○数年内に見直し可能   ○余地はあるがまだ時間が必要   ●余地なし							
		Action)		- /\-io\\	, W. 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		<u> </u>	
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・	<del></del>			
資源方向性		算額 〇拡大			業務量	○拡大●	現状 〇縮小	
スポップリ・コーエ	1 7	T IIX 0 1/47			- 不切主			

事務事業調書(	- I - F I		評価)						
事務事業名	中学杉	烫教育振興事業	<b>\begin{align*}</b>			始年度  平	成30年度		
担当課	教育委		育課		担当者	國	<b>黄 梢</b>		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			·				
	政策	03	文化薫る心豊						
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	:健やかな	心や体を育む	学校教育			
	基本事		総合事業						
事業の目的	学校生	活、授業、行	事等の中で多彩な	活動を引き	き出し、生徒 <i>の</i>	)学習意欲を高	ある。		
事業の概要			外部講師による書 な教材消耗品を整		重指導を行う。				
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初		
	i	総事業費	9, 437		9, 942			378	
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標	tis t	<b>画夕</b> 称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	指標名称		実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	日常生活の中においても興味関心や 気づきが増した生徒数		人	1, 250	1, 209	1, 198	1, 198	
	評価	<b>[ ●達成、</b>	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		地域外部語	講師による書写及	び各種指導	を授業で実施	することで、	生徒の興味関	心や意欲が高	
評価と説明	説明	まった。							
見直し余地	判定	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし							
■将来方向性【	改善(	Action) ]							
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ○拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	非常勤	講師活用事業				事業開	]始年度   <del>-</del>	平成26年度	
担当課	教育委	員会 学校教	育課		担当者	f 田·	代 浩貴		
■事業の執行計									
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03			心や体を育む	·学校教育			
	基本事	業 99	総合事業						
古世の口む	児童生	徒の習熟度の	向上及び学校生活	の充足。					
事業の目的		徒の自ら学ぶ							
古米の畑田			の非常勤講師等、	理科支援	員、部活動指導	草員、外国語式	変援員を小中	学校	
事業の概要			教員業務支援員等						
■事業実施結果		(Do)							
		年度	5年度		6年	度		7年度	
事業費の推移	実績	実績/当初予算 実績			実績		当初		
		総事業費	139, 294		187,	939	225, 878		
■前年度の事業	分析【	評価(Check)							
	指標	i		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	<b>打</b> 目1	指標名称		実績	実績	計画	計画	
お海の推移	活動	非常勤講師配置	<b>├</b>	校	8	8	8	8	
指標の推移	冶勁	<b>非吊到碘刚</b> 配但	<b>父</b>	12	0	0	0	0	
	評価	i ●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず		•	
達成度の		市内小中等	校に市採用非常	勤講師を配	置し、子ども	たちの豊かな	学校生活の	ために、個に応	
評価と説明	説明		D支援を行い、児					した。	
		荒れた学校は無く、学力調査の結果でも県平均や全国平均を上回っている。							
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
■将来方向性【	7 T V	Action) ]							
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮	<b>小</b>	